

株式会社西川精機製作所

東京都江戸川区

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

アイデア×技術力×デザインで新しい価値を付加する「下町のものづくりコンシェルジュ」

- 高度な技術とITなどを活用しイノベーションをおこし付加価値向上を目指す
- 積極的に人材育成に投資を行い、社員全員が「技術営業職」として活動することで業務効率を向上
- 有給休暇や出産・育児休暇取得を促すために若手従業員の「多能工化」を推進

企業基本情報

所在地	東京都江戸川区中央 1-16-23
電話/FAX	03-3674-3232/03-3674-3236
URL	http://nishikawa-seiki.co.jp/
代表者	代表取締役 西川 喜久
設立	1964年
資本金	1,000万円
従業員数	6人



会社概要

同社は1964年創業、金属加工製造業を営んでいる。プリント基板自動めっきライン用の治工具およびそれに付随する工場設備、産業用設備機材、各種機械加工部品、医科学用研究機器などを主製品として製造・販売を行っている。

同社は従業員6名だが、切削加工・板金加工・樹脂成型から溶接加工に至るまですべてを同社内で行うことが可能であり、ものづくりのスペシャリストとして江戸川区を代表する企業である。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

高度な技術を裏付けに、イノベティブな取組に果敢に挑戦

同社は長年培ってきた技術を基に、産学官連携による福祉介護・スポーツ関連機具等の開発を手掛け、研究開発型企業への転換を目指している。具体的には、障害者向けボウリング投球機、カヌースラローム競技用のポール、純国産アーチェリー弓具復活「プロジェクト桜」、アスリートの動きをVRでリアルに体感できるシンクロスリート等の開発など。またユニークな取組としてIoT関連で「つながる町工場プロジェクト」国産アーチェリー開発「プロジェクト桜」なども参加。



国産アーチェリー開発プロジェクト桜

社員全員が「技術営業職」として活動することで業務を効率化

同社では「製造と営業」、「営業と企画」、「企画と製造」など、社員が複数の役割を兼任している。また、担当者が自ら製造したものを自分で顧客に納品する体制を構築している。顧客と直接接することで、品質、納期及び正確性などに対する意識が向上し、業務効率向上を図っている。人材育成については、東京都立職業能力開発センターなどを活用し、「東京ものづくり若匠」認定や技能検定の取得を促進し、外部講師による技能講習の開催などにも取り組んでいる。



投球補助器具

江戸川区「ワーク・ライフ・バランス推進企業」受賞

次世代育成支援対策推進法に基づく「次世代支援行動計画」を策定して、「とうきょう次世代育成サポート企業」へ登録し、有給休暇や出産・育児休暇取得を促すために若手従業員の「多能工化」を推進。また、CSR活動として小学生向けワークショップを開催し、ものづくりの楽しさを伝える活動もしている。さらに、東京芸術大学の学生や若手デザイナーたちと「交場プロジェクト」を立ち上げ、製品開発の支援を行っている。平成26年度江戸川区産業ワーク・ライフ・バランス推進企業である。



交場プロジェクトの製品（上）とワークライフバランスの取組（下）